

平成28年度 事業報告

社会福祉法人

横浜市神奈川区社会福祉協議会

平成28年度 横浜市神奈川区社会福祉協議会 事業報告

*地区社会福祉協議会を「地区社協」、地区民生委員
児童委員協議会を「地区民児協」と表記しています

平成28年度 事業のトピックス

制度やサービスだけでは解決できない課題が増加し、個人や家族ではどうすることもできない課題を抱える人が増えています。また、援助を求められない「孤立」した家族も増えています。このようななか、神奈川区社協では、近隣による見守りにより、これらの課題をみつけ、制度を活用するとともに地域で支える仕組みづくりを進めました。

1 見守り体制の強化への取組

～「住民支え合いマップづくり事業」47自治会町内会から56自治会町内会に拡大～

平成25年度から実施している「住民支え合いマップづくり」に取り組む自治会町内会が、56か所に増え、また、民生委員も延べ102名が取り組みました。50世帯単位のご近所エリアでの把握、見守り活動が進み、個別課題、地域課題への取り組みが進みました。

2 生活支援体制整備事業の取組

平成28年度に新たに始まった「生活支援体制整備事業」では、区社協と区内地域包括支援センターに配置された「生活支援コーディネーター」との連携により、生活支援や介護予防を重視した高齢者の生活を支える地域づくりを進めました。またさまざまな団体と連携し、担い手の養成、発掘を行いました。

3 地区ボランティアセンターやサロンの立ち上げ、運営支援

住民のちょっとした困りごとを解決するため、身近な地域の地区ボランティアセンター3か所や気軽に立ち寄れるサロン73か所の立ち上げについて支援しました。また、既存の活動への運営支援を行いました。

4 「共助」の輪を広げる取組～地区社協、地区民児協等「地域団体」への支援～

地区社協、地区民児協、連合町内会等の地域団体の定例会に職員が参加しました。また、区からの委託事業として、他の地区民児協の事例を紹介するとともに、「共助」の輪を広げる重要性、個別事例の検討等の研修を実施しました。

5 子どもの居場所づくりの取組

区内の子どもたちが、環境に左右されることなく自分らしい生活をおくれるよう「子どもの居場所づくり」をめざし、子どもを支援する事業についての研修を行いました。また、さまざまな課題を話し合い情報交換ができる「子ども支援ネットワーク」を組織しました。

重点項目 1 身近な地域での住民のつながり・支えあい活動の推進

1 生活支援体制整備事業の推進

「生活支援コーディネーター」を中心にした地域支援づくり

横浜市では平成28年度より「生活支援体制整備事業」が始まりました。それに伴い区内の8つの地域包括支援センターとそれを支援する役割として神奈川区社協に「生活支援コーディネーター」が配置され、生活上の困りごとを解決する仕組みづくり（生活支援）や心身ともに健康で、誰もが生きがいを持てる仕組みづくり（介護予防）を進めるために、それぞれの地域包括支援センターエリアでの活動の他、4つの部会に分かれ、地域の中での取り組みを進めました。

①生活支援コーディネーターの支援

各地域包括支援センターに配置された生活支援コーディネーターを支援するため、毎月1回、定例会を開催し、仕事を進める上での悩みや事例の紹介などを行いました。

また、視察研修会や事例研修会等を行い、生活支援コーディネーターの力を高めました。

②部会活動の支援

生活支援体制整備事業を進めるため、4つの部会に分かれ活動を展開しました。

○生活支援部会

買い物困難者の支援や家の中の修繕や掃除、移動困難者等の支援や通院介助等の支援策を検討しました。

○サロン連絡会部会

身近な地域で住民が交流できるとともに、参加者としてだけでなく、担い手としても参加できる場を作りました。

○広報部会

生活支援体制整備事業の意味合いを広く、地域の皆さんに理解してもらえるよう、リーフレット等を作成しました。

○体操部会

身近な場所で気軽に体操等に参加し、心身の健康増進を図る他、地域での見守り活動にもつなげました。

2 民生委員とふれあい訪問員等による見守り・支え合い活動と公的機関が連携した困った問題の解決に向けたネットワークの仕組づくり

①「住民支え合いマップづくり」をきっかけにした小地域における見守り推進事業

平成25年度より実施している「住民支え合いマップづくり」による要援護者の把握、見守りの輪を広げていく活動として、「住民支え合いマップづくり作成講座」を実施しました。結果、課題を抱えた人への支援活動にもつながりました。

①住民支え合いマップづくり作成講座

○日にち・回数 第1回 7月19日(火)・第2回 8月2日(火)
第3回 9月9日(金)

○講師 住民流福祉総合研究所 木原孝久氏

○場所 は一と友神奈川 多目的研修室 他

○参加者数 30名(うち地域13名、支援機関等17名)

○対象 自治会町内会、民生委員、ケアプラザ職員等

○内容 <7月19日>

①住民支え合いマップの考え方について

②模擬マップ作り

<8月2日>

①世話焼きさんが参加してのマップ作り

②マップからの課題の抽出

<9月9日>

住民支え合いマップを実践してみてもの課題の話し合い

②住民による見守り活動の充実

①住民支え合いマップを活用した50世帯を単位とした見守り活動の推進

56自治会町内会(自治会町内会全体で実施し、民生委員も参加)と14エリアの地区民生委員児童委員協議会(民生委員102名の担当地区で実施)において、住民支え合いマップづくりを行い、住民同士のつながりの把握、地域課題の発見、孤立している高齢者の把握を行いました。

～新規実施地区のみ掲載～

自治会町内会

- 神大寺東町町内会
- ヨコハマポートサイド自治会
- 新町会
- 羽沢星ヶ丘自治会

地区民児協

- 幸ヶ谷地区民児協
- 神奈川地区民児協
- 神大寺地区民児協
- 羽沢三枚地区民児協

②見守りを中心としたサロンの充実

自治会や民生委員が主体となり、地域のご近所の方が気楽に集まる

<p>③サロン連絡会の開催</p>	<p>場所を作り、つながりをもっと活発にさせたいと、区内各地で73か所のサロンが活動しています。</p> <p>上記サロンが各地域で展開される中、求められる機能や内容についての研修を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日 時 1月12日(木) 13:30~15:30 ○場 所 は一と友神奈川 多目的研修室 ○講 師 ボランティアグループすずの会 代表 鈴木 恵子氏 ○内 容 「これからのサロンに求められるもの」 ○参加者 53名
<p>3 自治会・町内会等と協働でつくる災害時要援護者支援などの仕組づくり</p>	
<p>①災害時要援護者支援事業助成金</p> <p>②災害時要援護者支援講座の開催</p>	<p>神奈川区役所では平成26年度から行政が保有する災害時の要援護者情報を、希望する自治会町内会の防災組織に提供する「情報共有方式」による災害時要援護者支援事業を開始し、77団体と協定を締結しています。これに伴い地域の活動を支援するため、神奈川区役所と共同で助成金制度を運営しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本助成金を申請した団体数 25団体 ○助成総額： 1,110,400円 <p>災害時要援護者名簿の活用法を学ぶため、区内の先行事例の紹介を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日 時 6月27日(月) 10:00~12:00 ○場 所 は一と友神奈川 多目的研修室 ○講 師 青木第二自治会町内会連合会 澤兼一郎会長 青木第二地区社協 戸張治行会長 青木第二地区社協 神谷禮子事務局長 ○内 容 要援護者と各自治会町内会をつなぐ「物資運搬訓練」の開催に連合全体で取り組む ○参加者 54名
<p>4 地区社協の支援</p>	
<p>①地区社協分科会と事務担当者会議・研修の合同開催</p>	<p>①地区社協分科会の開催</p> <p>区社協からの助成金や研修会の案内、地区社協の取組の紹介などを行う会議を年6回開催しました。</p> <p>第1回：4月21日(木) 第2回：6月16日(木) 第3回：8月4日(木) 第4回：10月24日(月) 第5回：12月7日(水) 第6回：2月16日(木)</p> <p>②地区社協役員等研修会の開催 (他都市視察研修)</p> <p>神奈川区で実施するふれあい訪問事業の参考とするため、市を挙げて具体的な見守り活動に取り組む沼津市と多くの住民が関わり部会</p>

<p>②地区社協相談支援事業</p> <p>③各地区ふれあい訪問活動への支援</p>	<p>単位での活動が充実している愛鷹地区社協の視察研修を行いました。</p> <p>○日 時 10月24日(月)</p> <p>○訪問先 沼津市社会福祉協議会</p> <p>○参加者 62名</p> <p>○内 容 (1)沼津市で取り組む小地域ネットワーク活動について (2)愛鷹地区社協の取組について</p> <p>○講 師 沼津市社協 石黒氏 沼津市愛鷹地区社協の皆さん</p> <p>③見守り活動情報交換会</p> <p>沼津市社協の視察を受け、各地区のふれあい訪問活動を含む各地区の見守りの取り組みについて情報交換を行いました。</p> <p>○日 時 12月7日(木) 14:00～16:00</p> <p>○場 所 は一と友神奈川 多目的研修室</p> <p>○参加者 42名</p> <p>職員が地区社協理事会・事務局会議、役員打合せ会などに出向き地区社協の運営や活動について、他地区や他区の情報を提供したり、先進事例を紹介するなど、具体的な活動支援を行いました。</p> <p><職員が出向いた定例会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子安通1丁目地区社協定例会(地区会長会内で開催) (月1回) ・大口七島地区社協理事会 (月1回) ・神奈川地区社協事務局会議 (2ヵ月に1回) ・幸ヶ谷地区社協事務局会議 (月1回) ・神西地区社協役員会 (隔月1回) ・青木第二地区社協定例会(地区会長会内で開催) (月1回) ・三ッ沢地区社協定例会 (月1回) ・神大寺地区社協事務局会議 (月1回) ・片倉地区社協理事会 (月1回) <p>地区社協が区から受託しているふれあい訪問事業が円滑に進められるよう、見守りの方法や担い手の増強などについて地区社協の相談に乗り、研修などの支援を行いました。</p> <p><研 修 事 例></p> <p>《新子安地区社協》 全1回</p> <p>ふれあい訪問員研修会に参加し、日頃の活動の中で特に気にかけて欲しい世帯について説明しました。</p> <p>《子安通1丁目地区社協》 全1回</p> <p>ふれあい訪問員・友愛推進員合同研修会に参加し、日頃の活動の中で特に気にかけて欲しい世帯について説明しました。</p> <p>《大口七島地区社協》 全1回</p> <p>ふれあい訪問員研修会に参加し、日頃の活動の中で特に気にかけて欲しい世帯について、事例を提供しました。</p>
--	--

<p>④地区ボランティアセンターの運営支援</p>	<p> 《白幡地区社協》 全2回 ふれあい訪問研修会に参加し、ふれあい訪問活動とは・情報交換の具体的な進め方などについて研修を行いました。 </p> <p> 《神奈川地区社協》 全1回 ふれあい訪問員連絡会に参加し、区内のふれあい訪問事業の状況を共有し、今後の取り組みについて話し合いました。 </p> <p> 《幸ヶ谷地区社協》 全3回 地区社協で組織した「み守りたい」の皆さんを対象に、認知症のことを学びました。また、地図を広げ、町内会ごとに気になる人を出し合いました。 </p> <p> 《青木第一地区社協》 全1回 ふれあい訪問員が集まり、地区内で行われているサロンやふれあい訪問の情報交換会についての発表を聞き、見守りについて学びました。また、町内会ごとに、気になる人を出し合いました。 </p> <p> 《青木第二地区社協》 全2回 6つの自治会町内会ごとに、自治会町内会役員、民生委員、ご近所のこと詳しい方に参加いただき、情報交換と見守り方法の検討、災害時の対応について話し合いました。 </p> <p> 《片倉地区社協》 全2回 自治会町内会ごとに、きめ細かく見守り活動を行う必要性と意義について研修会を行いました。また、実際に各自治会町内会において、個別にふれあい訪問員情報交換会を開催し、気になる人を出し合い、見守り方法を検討しました。 </p> <p> 《羽沢地区社協》 全1回 ふれあい訪問員研修会に参加し、日頃の活動の中で特に気にかけて欲しい世帯について、事例を提供しました。 </p> <p> 住民のちょっとした困りごとを解決できるちょっとした手助けを、地域住民が自ら行い、それをコーディネートする「地区ボランティアセンター」の運営費を助成するとともに、運営の支援を行いました。 </p> <p> 《地区ボランティアセンター設置地区》 </p> <ul style="list-style-type: none"> ○大口・七島地区「大口七島ミニボランティアセンター」 年間依頼件数：13件 主な依頼内容：ゴミ屋敷の清掃、草木の剪定、障子の張替え等 ○菅田地区「菅田安心ボランティア」 年間依頼件数：46件 主な依頼内容：草取り・枝切り、網戸・障子の張替・室内片付け、修理等 <p> 《28年度新たに立ち上がった地区》 </p> <ul style="list-style-type: none"> ○神奈川地区「神奈川支え合いチーム」 年間依頼件数：8件 主な依頼内容：電球交換、ネズミ駆除、ごみ出し支援など
----------------------------------	--

<p>⑤地区ボランティアセンター立ち上げ研修会</p>	<p>○三ツ沢南町町会「三ツ沢南町お助け隊」 年間依頼件数：3件 主な依頼内容：草取り、雨どい修繕</p> <p>○松見地区「松見地区ボランティアセンター」（H29.4.1開所）</p> <p>社会的に生活支援への取り組みの重要性が増す中で、区内でも身近な地域での住民同士の支え合いを基調とした地区ボランティアセンターの立ち上げに向けた研修会を開催しました。</p> <p>○第1回 日 時 5月31日（火）10：00～12：00 場 所 は一と友神奈川 内 容 茅ヶ崎市社協及び茅ヶ崎市地区ボラセンの取り組み 他 講 師 茅ヶ崎市社協 加藤 絵里氏、横山 康洋氏 サポートはますか 習田 祐子氏 湘北地区ボランティアセンター 有元 佳子氏</p> <p>○第2回 日 時 6月14日（火） 10：00～12：00 場 所 は一と友神奈川 内 容 神奈川区内の地区ボランティアセンターの取り組み 講 師 菅田安心ボランティア 倉石調整役、石渡調整役、法田調整役 大口七島ミニボランティアセンター 菊地センター長</p>
<p>4 地域ケアプラザ・地域包括支援センターと民生委員が連携した身近な地域での困った個別の課題の解決に向けたネットワークの仕組づくり</p>	
<p>① 地区民児協との間での困った問題を抱える要援護者情報の共有化と解決に向けた取組</p>	<p>①地区民児協定例会議への出席 地区民児協定例会議に出席し、地域ケアプラザ・地域包括支援センターと連携し、制度では解決できない困った問題を抱える人の情報を民生委員やふれあい訪問員などと共有化。その対応を協議し解決に向けて連携しました。 <定例的に出向いた会議> 幸ヶ谷地区民児協、青木第二地区民児協、三ツ沢地区民児協 白幡地区民児協、神大寺地区民児協、神奈川地区民児協、六角橋地区民児協</p> <p>②民生委員研修の開催（区委託研修） 区役所の委託を受け、「民生委員の為の事例対応力向上研修」を開催しました。「2025年問題と介護保険の改正 ～民生委員活動との関連性～」をテーマに今後意識して見守る世帯等について、その対応策や関わりについて検討しました。 <開催状況> (青木第二地区) 日 時 5月27日（金）19：00～19：30 場 所 上反町会館 出席者 民生委員：5名</p>

<p>②専門機関相互の情報の共有化と解決に向けた取組 (包括支援センター定例カンファレンスへの出席)</p> <p>③地域包括支援センターが主催する地域ケア会議への参加</p>	<p>(片倉・菅田・羽沢三枚地区) 日 時 7月9日(土) 13:30~15:30 場 所 羽沢スポーツ会館 出席者 民生委員:32名 (羽沢:9名、菅田:9名、片倉:10名 三枚:4名)</p> <p>(新子安・子安入江・神奈川・神西浦島丘地区) 日 時 7月18日(祝) 10:00~12:00 場 所 新子安地域ケアプラザ 多目的研修室 出席者 民生委員:36名 (新子安:10名、子安入江:11名、神奈川:5名、神西浦島丘:10名)</p> <p>(大口七島・白幡地区) 日 時 9月12日(月) 18:00~20:00 場 所 白幡地区センター 研修室 出席者 民生委員:36名 (白幡:19名、大口七島:17名)</p> <p>(神北・六角橋地区) 日 時 9月15日(木) 13:30~15:00 場 所 六角橋地域ケアプラザ 多目的研修室 出席者 民生委員:29名 (神北:13名、六角橋:16名)</p> <p>区内全包括支援センターで月1回行われる定例カンファレンスに出席。カンファレンスで出された事例のうち、制度では解決できない困った課題を抱える人の情報を共有化し、民生委員や地区社協等と共に対応策を検討しました。</p> <p>課題に対して、地域資源の活用、協働の視点をもって包括支援センターが主催する地域ケア会議に参加しました。</p>
<p>5 地区社協、福祉団体への活動助成・配分</p>	
<p>①区社協助成金 ア A・B・C区分 (市社協補助金を原資とする助成区分)</p>	<p>市社協補助金を原資とするふれあい助成金に区社協が実施してきた従来の共同募金配分金による事業助成を統合し助成を行いました。 詳細は P30~P36 参照</p> <p>○ 受配団体: 152団体 ○ 助成総額: 7,956,090円 内訳: A区分(市民参加による地域福祉推進事業) 88件 5,300,090円</p>

<p>イ D・E・F区分 (区社協が単独で助成する制度)</p> <p>②年末たすけあい募金の配分金による助成・配分</p> <p>③地区社協への助成(①、②に含まれるものを除く)</p> <p>④地域ケアプラザ連携地域福祉推進事業助成金</p>	<p>B区分(障がい者当事者活動) 14件 824,000円</p> <p>C区分(福祉のまちづくり活動) 50件 1,832,000円</p> <p>善意銀行預託金を財源とし、市民活動団体の立ち上げ資金等に助成を行いました。</p> <p>○受配団体: 132団体</p> <p>○助成総額: 2,110,000円 内訳: D区分(立ち上げ助成) 18件 900,000円</p> <p>E区分(地域福祉課題解決助成) 助成申込はありませんでした。</p> <p>F-①区分(周年記念助成) 1件 50,000円</p> <p>F-②区分(子育て支援団体への備品等更新助成) 1件 40,000円</p> <p>F-③区分(区社協会員団体助成) 112件 1,120,000円</p> <p>年末たすけあい募金を原資として、区内の地域福祉団体、福祉施設、地区社協に配分を行いました。 詳細は P37～P40 参照</p> <p>① 年末たすけあい募金実績額 (平成28年度実績) 16,052,802円</p> <p>② 年末たすけあい募金配分 (平成28年度募金実績からの配分)</p> <p>○受配団体: 149団体</p> <p>○助成総額: 14,473,000円(決定額)</p> <p>内訳: 地域配分(地域配分) 71件 5,859,000円 地域配分(団体配分) 48件 1,570,000円 区域配分(障がい者施設等配分) 9件 704,000円</p> <p>地区社協育成助成金(平成29年度活動費の財源) 21件 6,340,000円</p> <p>地区社協の運営と活動の推進を目的に、21地区の地区社協を対象に助成金を交付しました。</p> <p>○地区社協活動費 1,050,000円 (市社協補助金 1地区社協あたり50,000円)</p> <p>○地区社協育成助成金 7,970,000円</p> <p>○地区社協支援費 1,150,000円</p> <p>地域ケアプラザ等が区社協と連携し、地域住民を対象とした助け合いの仕組みを作り出すことを目的とした地域福祉推進事業に対し、助成金を交付しました。</p> <p>○受配事業: 3事業</p> <p>○助成総額: 150,000円 地域包括支援センター若竹苑「社会的孤立に向けた食事会の開催」</p>
---	--

<p>⑤地区ボランティアセンター事業助成金</p>	<p>菅田地域ケアプラザ「菅田・羽沢地区社会福祉施設連絡会」 六角橋地域ケアプラザ「まち×学生プロジェクト」</p> <p>神奈川県内に設置する地区ボランティアセンターの活動を支援することを目的として、地区ボランティアセンターが行う各種事業に要する経費について、助成金を交付しました。</p> <p>○ 受配団体： 5団体 ○ 助成総額：500,000円</p> <p>内訳：<u>運営費助成</u> ○受配団体： 2団体 菅田安心ボランティア 大口七島ミニボランティアセンター</p> <p><u>立上げ助成</u> ○受配団体： 3団体 神奈川支え合いチーム 三ツ沢南町 お助け隊 松見地区支え愛プラン推進委員会</p>
----------------------------------	--

重点項目2 幅広い福祉保健人材の育成

1 区域におけるボランティア活動の推進

<p>①新規ボランティアの発掘と育成・登録ボランティアへのフォローアップ</p> <p>② 区ボランティアセンターコーディネート体制の充実</p>	<p>①一般区民向けのボランティア入門講座の開催 ボランティア活動の基礎、高齢者疑似体験、車いす体験などを「ボランティア入門講座」として定期的を開催しました。</p> <p>○開催回数 年間4回 ○会 場 は一と友神奈川 ○参加者 延べ9名</p> <p>②各種講座での説明 横浜シニア大学等の他機関が開催する講座にて、「ボランティアとは」等、ボランティアの基礎について講義を行いました。</p> <p>①ボランティア相談窓口の開設時間 月曜日～土曜日 9:00～17:00</p> <p>②コーディネート実績</p> <table border="1" data-bbox="699 1668 1268 2038"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>依頼件数</th> <th>紹介件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児 童</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>障がい児・者</td> <td>13</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>高 齢 者</td> <td>63</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>外 国 人</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>限 定 せ ず</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td>8</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>87</td> <td>71</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	依頼件数	紹介件数	児 童	2	2	障がい児・者	13	7	高 齢 者	63	55	外 国 人	0	0	限 定 せ ず	1	1	そ の 他	8	6	合 計	87	71
区 分	依頼件数	紹介件数																							
児 童	2	2																							
障がい児・者	13	7																							
高 齢 者	63	55																							
外 国 人	0	0																							
限 定 せ ず	1	1																							
そ の 他	8	6																							
合 計	87	71																							

**③区ボランティアセンター
広報啓発の充実**

③ボランティア新規登録者数

個人登録 32名 …… 累計339名
 団体登録 2団体 …… 累計68団体

①「はばたき」の発行

ボランティア募集や登録ボランティアへのフォローアップ等の情報を掲載
 ○年2回 発行部数：各回1,000部

②「かながわ区社協だより」への記事掲載

ボランティア講座の案内、ボランティア募集など
 ○年1回 発行部数：43,100部

③「広報よこはま 神奈川区版」への記事掲載

ボランティア講座の案内
 ○年1回 発行部数：120,000部

④「ボランティアをはじめのあなたへ」の作成

活動にあたっての注意事項、ボランティア保険についての情報などを掲載したパンフレットを作成、講座等で活用しました

⑤「ボランティアセンターリーフレット」の作成

ボランティアを始めるきっかけとして、ボランティアセンターを知ってもらうためにリーフレットを配布しました。

**④区福祉保健活動拠点の運営
(指定管理事業)**

区福祉保健活動拠点「はーと友神奈川」を受託し、運営しました。

指定期間：平成28年4月1日～平成33年3月31日

開館時間：9：00～21：00（日・祭日は～17：00）

業務内容：部屋の貸出、印刷機、メールボックス、ロッカーの貸出、ボランティア相談・紹介・支援

①部屋別利用実績

区 分	利 用 件 数			
	午前	午後	夜間	計
団体交流室	334	306	261	901
多目的研修室	171	185	180	536
点字製作室	76	93	14	183
録音室	195	207	100	502
対面朗読室	123	123	122	368
合 計	899	914	677	2,490

<p>⑤福祉教育の推進</p>	<p>②団体別利用実績</p> <table border="1" data-bbox="587 197 1406 369"> <thead> <tr> <th colspan="4">利用団体内訳</th> </tr> <tr> <th>ボランティア団体</th> <th>障がい者団体・当事者団体</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,071</td> <td>334</td> <td>1,877</td> <td>3,282</td> </tr> </tbody> </table> <p>③登録団体数 計 117 団体 内訳 ボランティア団体：33 団体、当事者団体：22 団体 その他：62 団体</p> <p>④拠点利用調整会議の開催 拠点のパンフレットや窓口アンケートの結果を説明するとともに、小グループで利用団体相互の交流・情報交換の場を設けました。 ○日 時：3月21日（火）10：30～12：00 ○参加団体：34 団体 38 名</p> <p>区内の学校等が行う福祉教育学習の相談コーディネーターや福祉教育プログラム実施に、他団体とともに協力しました。 <u>小学校3校、中学校3校、高等学校1校</u> (視覚障がい理解講座、聴覚障がい理解講座及び手話講座、高齢者疑似体験等) <u>企業1社</u> (高齢者疑似体験、視覚障がい体験、車いす体験)</p>	利用団体内訳				ボランティア団体	障がい者団体・当事者団体	その他	計	1,071	334	1,877	3,282
	利用団体内訳												
ボランティア団体	障がい者団体・当事者団体	その他	計										
1,071	334	1,877	3,282										
<p>2 地域ケアプラザと連携したボランティア活動等の推進</p> <p>①小地域におけるボランティアコーディネーター体制の確立に向けた取組 (地区ボランティアセンターの推進)</p> <p>ちょっとした手助けを、地域住民が自ら行い、それをコーディネートする「地区ボランティアセンター」の運営費を助成するとともに、運営の支援を行いました。 《地区ボランティアセンター設置地区》 P6参照</p> <p>②地域ケアプラザ事業「地域づくりデビュー講座」への協力</p> <p>講座受講者が地域の活動につながり、定着できるよう地域ケアプラザと協力して、プログラムの企画や地域の活動の受け皿づくりなどを行いました。 ○六角橋地域ケアプラザ「コーヒーを学んでサロンを作ろう」 ○菅田地域ケアプラザ「ボランティアデビュー講座」</p> <p>③地域ケアプラザ地域交流コーディネーター連絡会開催</p> <p>月1回開催されている連絡会の事務局を担い、情報交換や視察研修を行うとともに各地域ケアプラザとの協働事業により地域を支援しました。 ○視察研修「椎名町子ども食堂」 日 時：8月25日 子どもへの支援について学ぶとともに、今後どのように区域で小中学生への支援を行っていくか学びました。</p>													

3 障がい児者にかかわるボランティア等の発掘と育成	
①ガイドボランティア講座 の開催	<p>障がい種別毎に、ガイドボランティア養成講座を行い、移動情報センターおでかけサポーターの登録者を増やしました。</p> <p>①知的障がい編（全2回）</p> <p>○日 時 7月10日（日）他 ○参加者 延べ29名 ○講 師 県立鶴見養護学校 黒住直先生と保護者の方 ○内 容 障がい理解の座学と7月23日以降、区内ケアプラザで開催した学齢障がい児余暇支援事業へボランティアとして参加いただいた。</p> <p>②視覚障がい編（全4回）</p> <p>○日 時 ①11月6日 ②11月13日 ③11月20日 ④11月27日（全日程日曜日） ○参加者 延べ39名 ○講 師 視覚障害者支援センターピアスペース 神崎 好喜 氏 ○内 容 ①座学と実技「目が見えないって？」 ②座学と実技「外出支援の意義とボランティアの心構え」 ③座学と実技「屋外や交通機関利用時の誘導の仕方」 ④実習「JR 東神奈川駅周辺へのおでかけ」</p>
②ガイドボランティア交流会	<p>日頃活動しているガイドボランティア同士の交流と情報交換を目的として開催しました。</p> <p>①第1回 8月1日（月） 参加者 15名 内 容 平成27度の活動報告と情報交換</p> <p>②第2回 3月28日（火） 参加者 7名 内 容 ガイドボランティアと利用者の交流ランチ・情報交換</p>
4 地域福祉を担う人材の発掘と育成	
地域福祉コーディネーター 養成講座の開催	<p>個別支援と地域支援を融合させた活動が進み、その意識を持った活動者も増えてきました。また、生活支援コーディネーターが配置されましたが、課題の共有や解決に向けた取り組みを進めるにしても地域内での人間関係や地域の歴史等、様々なことを理解した上で進めるのは、なかなか難しい状況です。</p> <p>そこで、これらの状況を踏まえ各地区社協単位で、「地域福祉コーディネーター」を養成し、地域福祉を推進する中心的な存在になってもらうことを目的に開催しました。</p>

	<p>○日程・内容</p> <p>第1回：11月 7日（月） 講義「福祉課題と住民主体の活動作り」 講師：日本社会事業大学 菱沼幹男先生</p> <p>第2回：11月15日（火） 講義「一人一人に寄り添う支援とは」 講師：すずの会 鈴木恵子氏</p> <p>第3回：12月14日（水） 視察研修「すずの会ミニデイサービス」 視察先：すずの会</p> <p>第4回：1月24日（火）・3月1日（水） 視察研修「地区支援ネットワーク会議について」 視察先：茅ヶ崎市 茅ヶ崎地区・浜須賀地区</p> <p>第5回：2月8日（水） 講義「子ども支援活動と地域作り」 講師：NPO 法人 豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク 理事長 栗林知絵子氏</p> <p>第6回：2月21日（火） 講義「町内会単位で行う福祉活動」 講師：安城市城南町会 藤野千秋氏 安城市社協 吉村了子氏</p> <p>○養成者数： 14名</p>
--	---

**重点項目3 高齢者、障がい児者、子育て中の親などへの生活支援
（「地域における権利擁護の推進」を含む）**

1 神奈川県社協あんしんセンターの運営（市補助、委託事業）	
①契約に基づく定期訪問、 金銭管理サービス	<p>誰もが地域で安心して暮らすことができるように、高齢者や障がい者に対して権利擁護に関する相談や、定期訪問を通して福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理サービス等を実施しました。</p> <p>○初回相談件数：43件</p> <p>○定期訪問・金銭管理サービス契約件数：39件 ※新規契約件数：13件（前年比+2件） 終了件数：10件（前年比+6件）</p> <p>○財産関係書類等預かりサービス：9件 ※新規契約件数：3件（前年比+3件） 終了件数：4件（前年比+3件）</p> <p>○利用者数：39名（前年比+3件） （件数は平成29年3月末現在）</p>
②制度の広報、啓発	<p>権利擁護事業の啓発のための出張説明会の実施</p> <p>○7月28日（木） 9：40～11：50 横浜シニア大学・老人福祉センターうらしま荘にて参加者32名</p>

<p>③関連機関との連携</p>	<p>①地域包括支援センター連絡会社会福祉士分科会 ○年6回参加</p> <p>②成年後見サポートネット サポートネット全体会 年3回参加 サポートネット分科会 年1回参加（企画運営）</p>
<p>2 外出支援サービス事業（市委託事業）、区社協送迎サービス事業</p>	
<p>送迎サービス事業</p>	<p>神奈川区在住の自力で外出が困難な在宅の高齢者・障がい者を対象とし、外出の機会を拡大するとともに家族の負担の軽減を図るために送迎サービスを実施しました。また、よりよい送迎サービスの提供と安全運行を目的として、運転ボランティア定例会を開催し安全運転についての再確認と情報交換を行いました。</p> <p>○利用総件数 : 714回 ○利用登録者 : 99名 ○利用車両 : リフト付ワゴン車2台、スロープ付き車1台 ○ボランティア : 16名</p>
<p>3 移動情報センターの運営（市委託事業）</p>	
<p>①相談窓口での相談調整・ニーズの発掘と分析</p> <p>②障がい児・者のためのボランティアの発掘と育成、ネットワークづくり</p> <p>③サービス事業者の意見交換会の開催</p>	<p>区内障がい児者を対象とした地域の移動情報の収集、相談・調整を行う「移動情報センター」を運営し、地域の支援機関等のネットワーク作り、人材発掘と育成を行いました。</p> <p>当事者やそのご家族から相談を受け付け、個々の状況に応じて適切な支援機関を紹介しました。</p> <p>○相談件数：211件（調整活動件数：2,464件） （内訳）知的障がい105、身体障がい62、精神障がい6、複数障がい14、その他28</p> <p>○びあ友カフェの開催 保護者の方が気軽に話し合える場として、カフェを開催しました。今年度はテーマを決めて、ゲストを招いての情報交換を行いました。</p> <p>第1回：「進路と就職」 ゲスト：県立みどり養護学校教諭 日 時 5月13日（金）10:00～12:00 参加人数 11名</p> <p>第2回：「児童デイサービス」 ゲスト：児童デイサービス事業所 日 時 12月6日（火）10:00～12:00 参加人数 34名</p> <p style="text-align: center;"><P13 障がい児者にかかわるボランティア等の発掘と育成 参照></p> <p>障がい児者支援事業者間の連携を図り、事業者のスキルアップを図ることを目的として、事業者研修・懇談会を開催しました。</p>

<p>④情報発信</p> <p>⑤推進会議の開催</p>	<p>第1回「障害者差別解消法と合理的配慮についての研修会」 ○日 時 11月17日(木) ○参加者 27名 ○内 容 講演 「障害者差別解消法の内容と事業所が行うべき合理的配慮とは？」 講師 東洋英和女学院大学 教授 石渡 和実 先生</p> <p>第2回「ともに笑顔になるには・・・」 ○日 時 3月17日(金) ○参加者 24名 ○内 容 当事者3家族、1事業所からのお話しと検討会 スーパーバイザー：横浜市リハビリテーション事業団 小田芳幸 先生</p> <p>相談事業をはじめとした様々な事業を紹介するため、下記のとおり広報活動を行いました。 ○「出かけYο!通信」9号・10号 各1,200部発行 ○タウンニュースへの掲載 ○区内障がい児者関係団体、公共施設、区内小中学校、市内養護学校・特別支援学校、訓練会等へのちらし等の配布</p> <p>移動情報センターの各業務の推進について、意見をいただく推進会議を開催しました。 ○4回実施(四半期ごと)</p>
<p>4 障がい児者のための支援</p>	
<p>①余暇プログラムの実施</p>	<p>夏休み及び冬休みの期間で、ケアプラザと共催し、実施しました。</p> <p>○全7プログラム 参加者：延べ37名 / ボランティア：延べ97名</p> <p>①神奈川区社会福祉協議会 1月6日(金) 「いっしょにあそぼっ!冬」 参加者：5名/ボランティア：13名</p> <p>②沢渡三ツ沢地域ケアプラザ 7月24日(日) 「楽しいピザ作り」 参加者：12名/ボランティア：13名</p> <p>③菅田地域ケアプラザ 7月23日(土) 「プール&流しそうめん」 参加者：3名/ボランティア：8名 8月27日(水) 「プール&果物でジェラート作り」 参加者：3名/ボランティア：6名</p> <p>④六角橋地域ケアプラザ 8月10日(水) 「縁日で遊ぼう」 参加者：8名/ボランティア：26名</p>

<p>②区障害者作業所連絡会との連携</p> <p>③区障害者自立支援協議会との連携</p>	<p>⑤神之木地域ケアプラザ 8月2日(火) 「パンケーキづくり」 参加者：2名/ボランティア：11名</p> <p>⑥反町・新子安・六角橋地域ケアプラザ 8月27日(土) 「白幡の森をジャックしよう」 参加者：3名/ボランティア：13名</p> <p>⑦新子安地域ケアプラザ 7月30日(土) 「縁日で遊びましょう」 参加者：7名/ボランティア7名</p> <p>定例会に参加し、情報交換・意見交換を行いました。</p> <p>区内の障がい者支援の課題に取り組むため、区役所、地域作業所、入所施設などで参画される協議会に事務局として参加しました。</p>
<p>5 子育て支援</p>	
<p>①神奈川区子育て情報ホームページ「はぐはぐ神奈川」の運営</p> <p>②子育て支援団体に対する神奈川区社協助成金制度の実施</p> <p>③子ども支援事業</p>	<p>今年度も引き続き、“はぐはぐ神奈川編集隊”に「はぐはぐ神奈川ホームページ」の運営を委託し、子育て中のママへの取材や記事づくり、ホームページの更新等を行い、情報発信をしました。 また、各種イベントの企画運営を行いました。</p> <p>①子育て支援団体への助成 21件 1,056,000円 ②子育て支援団体の備品購入・施設設備に対する助成 1件 40,000円</p> <p>子どもたちが、環境に左右されることなく自分らしく暮らせるよう、各地域に「居場所づくり」をめざし、主任児童委員で構成される実行委員会を組織し事業を展開しました。</p> <p>①主任児童委員と区社協との懇談(毎月)</p> <p>②「神奈川区子ども支援ネットワーク」の結成 ○第1回 ネットワーク会議の開催 日 時 9月27日(火) 13:30～15:00 場 所 は一と友神奈川 多目的研修室 内 容 支援ネットワークの目的や今後に向けた検討</p> <p>③子ども支援事業研修会 日 時 9月2日(金) 13:30～15:30 場 所 は一と友神奈川 多目的研修室 講 師 NPO法人豊島こどもWAKUWAKUネットワーク 代表 栗林 知絵子 氏 参加者 53名</p>

6 低所得者、被災者への生活支援	
①生活福祉資金貸付事業 (県社会福祉協議会委託事業)	<p>低所得者及び身体障がい者世帯などの要援護世帯に、自立更生のための資金貸付・償還指導を民生委員の協力のもとに行いました。</p> <p>○相談件数： 1, 8 6 1 件 (昨年度 1,773 件)</p> <p>○貸付件数： 2 1 件 (昨年度 23 件)</p> <p>(内訳) 総合支援資金 1 件 教育支援資金 1 9 件 福祉費 緊急小口資金 1 件 臨時特例つなぎ資金 0 件</p>
②関係機関等との連携	<p>①生活困窮者自立支援制度への対応 神奈川区生活支援課が主催する本制度の定例支援調整会議に参画し、事例検討や関連する区社協事業の紹介等を行いました。 ○年 4 回出席。</p> <p>②神奈川県社協ライフサポート事業との連携 神奈川社協が実施する生活困窮者支援の同事業へ相談ケースをつないでいます。</p> <p>③食糧支援 NPO 法人セカンドハーベスト・ジャパンの協力のもと、食べ物をお送りしました。 ○年間 1 1 世帯： 1 3 名</p>
③小災害見舞金	<p>火災等の災害を受けた罹災者に対し、見舞金を支給しました。 交付対象罹災件数： 5 件 (内訳) 半焼 5 件 ○見舞金総額 1 2 0, 0 0 0 円 内訳：区社協見舞金：50,000 円 県共募見舞金：70,000 円</p>
④緊急援護事業	<p>行路病人等に対し緊急入院・入所に要する肌着や食費・交通費を支給しました。 ○総額： 8, 4 0 0 円 (4 2 件) (内訳) 交通費 4 2 件 8, 4 0 0 円</p>
⑤交通遺児見舞金	<p>神奈川県社会福祉協議会との連携事業として、交通事故により保護者を失った遺児に対して見舞金を支給しています。 平成 28 年度は該当者がいませんでした。</p>

重点項目 4 会員活動と地域福祉の推進

1 施設関係分科会など

<p>①施設分科会の開催</p>	<p>区社協会員の枠を超えて区内の福祉施設を対象とし、菅田・羽沢地区福祉施設等連絡会と共催で開催しました。</p>
<p>②青色防犯パトロール</p>	<p>菅田・羽沢地区の福祉施設が中心となって、「自分たちの街は自分たちで守る」をスローガンに、自主防災組織「神奈川区福祉施設等防犯連絡協議会防犯パトロール隊」を発足、施設の送迎車輛等に青色回転灯を装備し、青色パトロールを開始しました。</p> <p>6法人・6施設・18台 出発式 9月27日(火) 特別養護老人ホーム 羽沢の家にて</p>
<p>③近くにあるかも？見つかるかも！ふくしのお仕事フェア</p>	<p>福祉・介護のしごとや福祉施設を身近に感じてもらう機会として、福祉人材の確保につながることを目的に開催しました。</p> <p>○日時 10月13日(木) 13:00～16:00 ○場所 済生会神奈川県病院 地下1階「講堂」 ○出展施設 11施設 ○来場者 23名 ○内容 施設案内ブース 就職・復職相談コーナー 施設紹介スライドショー等</p>
<p>④新人職員交流会</p>	<p>各施設で採用が少ない新人職員の孤立感等による離職などの解決や、同期の存在を意識することを目的に開催しました。</p> <p>○日時 6月24日(金) ○場所 菅田地域ケアプラザ ○参加者 16名 ○内容 調理をしながらの交流会</p>
<p>⑤研 修</p>	<p>福祉施設が抱える課題について、合同で研修を行いました。</p> <p>①「施設で取り組む接遇改善」 日時・場所 5月30日(月)・けやき荘 講師 (株)安全な介護 山田滋氏</p> <p>②「高齢者福祉施設職員による実践事例発表」 日時・場所 9月16日(水)・けやき荘 発表者 羽沢の家・ヴィラ神奈川・愛の家グループホーム横浜菅田・菅田心愛の里・けやき荘</p>
<p>⑥幹事会</p>	<p>幹事会を全9回開催しました。</p>

2 専門機関部会	
①第1種会員合同分科会の開催	○日 時 2月16日(木) ○参加者 6名 ○内 容 ①理事・評議員候補者の推薦について ②平成29年度区社協重点事業について
②障がい者施設分科会の開催	区作業所連絡会定例会の一部を分科会として、議題を提出しました。 ○日 時 1月27日(金) ○参加者 18名 ○内 容 理事・評議員候補者の推薦について
3 民生委員児童委員分科会	
民生委員児童委員協議会分科会の開催	毎月、実施される区民生委員児童委員協議会の一部を分科会として、議題を提出しました。 詳細はP28参照
4 自治会町内会分科会	
自治会町内会分科会の開催	毎月、実施される区連合町内会自治会連絡協議会定例会の一部を分科会として、議題を提出しました。 詳細はP29参照
5 当事者団体部会	
当事者団体部会の開催	○日 時 2月14日(火) ○参加者 10名 ○内 容 ①理事・評議員候補者の推薦について ②平成29年度区社協重点事業について
6 地域福祉関係団体部会	
①ボランティア分科会の開催	○日 時 2月22日(水) ○参加者 10名 ○内 容 ①理事・評議員候補者の推薦について ②横浜市社協福祉ボランティア・市民活動部会委員の推薦 ③平成29年度区社協重点事業について
②関係機関・団体分科会の開催	○日 時 2月10日(金) ○参加者 7名 ○内 容 ①理事・評議員候補者の推薦について ②平成29年度区社協重点事業について
7 会員入会状況	
	下記のとおり、会員の入退会について理事会で承認いただきました。 ○新規入会 5件(第1種1施設、第6種3団体、第9種1個人) ○退会 2件(第5種1団体、第9種1個人) ○現在の会員数 247件

重点項目 5 社協の発展に向けた運営基盤の強化

1 福祉への理解啓発、広報

①「区社協だより」の発行

区社協事業等の周知、PRを目的に、タウンニュースの一面を「区社協だより」として掲載し、区内全世帯等に配布しました。世帯配布により、ボランティア活動希望や事業へのお問い合わせの電話を多くいただきました。

○発行回数：2回 ○発行・配布エリア：神奈川県内全域

○配布先：区内全世帯 ○発行部数：1回43,100部

○内 容

【85号】(8月発行)

地域の見守りの場「サロン」の紹介

神奈川地区「サロンにくじゃが」

七島南町町内会館「カフェ七島南」

【86号】(3月発行)

生活支援体制整備事業・生活支援コーディネーターの取り組み紹介

②タウンニュース、広報よこはま神奈川区版に事業情報掲載

地区社協や区社協事業、ボランティアセンターをより多くの方に知っていただくため、タウンニュースや「広報よこはま神奈川区版」に広報を掲載し、区内全世帯に案内しました。

○掲載回数：2回

③第32回神奈川区社会福祉大会の開催

○日 時 2月7日(火) 13:30~16:00

○場 所 かなっくホール

○参加者 地区連合町内会、地区社協、地区民児協、地区シニアクラブ、福祉保健活動団体、福祉施設、区民などの皆様。
約300人。

○主 催 横浜市神奈川区社会福祉協議会 神奈川区役所

第1部 式典及び社会福祉功労者感謝状贈呈

第2部 「かながわ支え愛プランの取組について」

取組報告 地区別計画 大口・七島地区/入江地区

区計画 地域子育て支援拠点かなーちえ

六角橋地域ケアプラザ

④区社協ホームページの運営

区民への情報提供と区社協への理解を拡大するため、区社協のホームページを運営しました。

各種事業のご案内や助成金情報など、幅広く掲載しました。

○掲載内容

神奈川区社協について/区社協の事業/地区社協の活動紹介/ボランティア募集情報/事業計画・事業報告/広報紙、チラシ等

○訪問者数(ホームページに訪れた人の延べ合計人数)

合計 64,545人

<p>⑤神奈川区民まつりへの参加</p>	<p>(1ヵ月平均約 5,378人、1日平均約177人) ○ホームページ更新回数 合計16回 ○URL http://www.kanakushakyo.com/</p> <p>反町公園で行われた神奈川区民まつりの企画・調整・運営に協力しました。</p> <p>○日時 10月9日 10:00～15:00 ○会場 反町公園 ○内容 共同募金、日赤に関する啓発パネル展示、着ぐるみ「クロクマ」による日赤活動のPR、赤い羽根共同募金活動など</p>
<p>2 善意銀行寄付金受入れの推進、福祉活動功労者への感謝</p>	
<p>①善意銀行寄付金品の受入</p> <p>②福祉活動功労者への感謝</p>	<p>①預託金 総額1,175,646円(個人5件、団体46件)</p> <p>②預託物品 32件(個人14件、団体18件) 詳細はP41～P43 参照</p> <p>福祉活動功労者に対する感謝の意を表すため、「第32回神奈川区社会福祉大会」にて、区社協会長と区長の連名の感謝状を次の方にお渡ししました。</p> <p>○金品寄付功労のあった団体 2団体 ○福祉活動功労のあった個人・団体 3名 6団体 ○5年以上勤続した民生委員児童委員 4名</p>
<p>3 災害ボランティアセンターの整備</p>	
<p>災害ボランティアセンターの運営体制の整備</p>	<p>神奈川区福祉保健活動拠点において、区役所、区社協、ボランティアが協力して、ボランティアセンターが立ち上げられるように、連絡調整を行いました。</p>
<p>4 地域福祉保健計画の推進</p>	
<p>かながわ支え愛プラン「第3期神奈川区地域福祉保健計画」の推進</p>	<p>「誰もが住み慣れた地域で、安心して、心豊かに、いきいきと暮らせるまちをつくろう」を理念とした「かながわ支え愛プラン」を区役所と協働事務局を担い、地域別グループの一員として、「区計画推進会議」や「地区別懇談会」(21か所)を開催し、計画を推進しました。</p>
<p>5 理事会、評議員会、正副会長会、監事会、委員会</p>	
<p>①理事会、評議員会、正副会長会</p>	<p>定期的を開催し、重要な事業の進め方について審議をしました。また、正副会長会を原則として、毎月、開催し、事業の進め方や方針を審議しました。 詳細はP24～P26 参照</p>

<p>②評議員選任・解任委員会</p> <p>③監事による監査</p> <p>④各種委員会</p>	<p>平成 29 年 4 月 1 日社会福祉法改正にともない、新たに次期評議員を選出するため、開催しました。詳細は P27 参照</p> <p>適正な組織運営を図るため、理事会などに出席いただくとともに、監事会を開催しました。詳細は P25 参照</p> <p>助成金審査委員会を年 3 回開催しました。(6 月、9 月、3 月) 業者選定委員会を 6 月に 1 回開催しました。詳細は P27 参照</p>
<p>6 苦情解決等の状況</p>	
	<p>下記のとおり、苦情を受け付け、対応しました。</p> <p>苦情受け付け 1 件 内容：生活福祉資金関係 ご意見箱受付 0 件</p>
<p>7 地域福祉関係団体への協力</p>	
<p>地域福祉関係団体支援</p>	<p>関係団体の事業運営に協力しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○神奈川県共同募金会神奈川区支会 ○日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部神奈川区地区委員会 ○神奈川区遺族会(会計全般は団体の自主管理) ○神奈川保護司会(会計全般は団体の自主管理) <p>事務支援・協力団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ○神奈川区更生保護女性会